Town Topics ～まちのわだい～

★次は北京での活躍を期待

厚生労働大臣杯第 58 回全日本実業団バドミントン選手権大会

▲オグシオ人気などもあって、5 日間で 1 万人以上の観客で大盛況

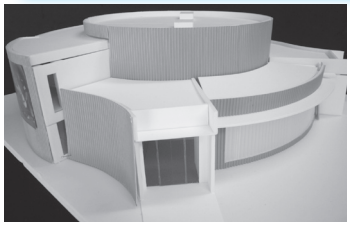
7 月 9 日から 13 日まで、市総合体育館をメイン会場に「第 58 回全日本実業団バドミントン選手権大会」が開催され、八代市では 11 年ぶりの開催となった今大会は、北京オリンピックを直前に控えた大事な試合となりました。

男子決勝は、北京オリンピック代表で八代東高出身の大東忠選手が所属するトナミ運輸 (富山県) と NTT 東日本 (東京都) の対決となり、NTT 東日本が五年ぶりの優勝。また、YKKAP 九州 (八代市) は三位でした。

女子決勝は、オグシオこと小椋・潮田を擁する三洋電機 (大阪府) と末綱・前田を擁する NECSKY(熊本市) の対決。北京オリンピック代表ペア同士の対戦は、地元の熱烈な声援をバックにした末綱・前田ペアが勝利し、勢いに乗った NECSKY が 3 － 1 で三洋電機を下し、5 年ぶり 2 度目の優勝を果たしました。

★賑わいある新駅周辺をめざして

物産館などが起工



▲松中信彦スポーツミュージアムの完成予想模型

▲広域交流地域振興施設の完成予想図

6 月 12 日、九州新幹線新八代駅東側で「広域交流地域振興施設（物産館）」の起工式が行われました。

この施設は、八代市の観光・行政情報の発信や農産物の販売などを行い、地域の振興をめざすもの。また、28 日には、プロ野球の体験コーナーや松中選手の思い出のユニフォームやグラブなどを展示する「松中信彦スポーツミュージアム」の起工式も行われました。

ともに、今年の 12 月 26 日にオープン予定で、新八代駅周辺の賑わい創出へ向けた中心施設として期待されています。

★北京でメダルをつかめ

全日本柔道強化合宿

▲世界トップの技に子どもたちの視線も釘付け（右：鈴木桂治選手）

▲稽古に汗を流す選手たち

6 月 30 日から 7 月 5 日まで八代市総合体育館で「全日本柔道男子強化合宿」が開催され、北京五輪を目前に、日本代表選手をはじめ強化選手など、約 70 人の選手たちが熱の込もった稽古を繰り広げました。

また、最終日に開かれた少年柔道教室には、少年少女柔道家たち約 500 人が参加。熊本県出身で北京五輪日本代表の内柴正人選手をはじめ、日本を代表する選手たちが柔道を通じて子どもたちとの交流を図りました。

閉会式では、斉藤仁監督から「オリンピックでは八代市での合宿の成果を存分に発揮したい」と力強いあいさつがありました。

★100歳おめでとうございます

▲鎌田　タケノさん（坂本町鎌瀬）
明治41年6月23日生

長生きの秘訣は「よく食べ、よく喋ること」。最近は、好きな裁縫ができなくなったので、折り紙遊びをたのしんでいるタケノさんです。

▲西垣　マキさん（日奈久新田町）
明治41年6月20日生

入院するまでは、毎日、朝の体操と日記をかかさず、今でも結婚した日や兄弟の名前をみんな覚えておられるおばあちゃんです。

★「福祉に役立てて」と寄附

ミャンマー・中国への救援金も

▶右から：横場工業株式会社江崎拓茂（たくも）御夫妻、坂田市長、呉（くれ）緑化センター社長　石内義夫さん

新港町の横場工業株式会社から「福祉分野に役立ててほしい」と市に1千万円の寄附があり、7月8日、市長応接室で江崎社長から坂田市長へ手渡されました。

また、ミャンマー・サイクロン災害と中国大地震に対しても、同社と江崎社長の知人であられる有限会社呉緑化センター（広島）石内義夫社長から100万円ずつ計200万円の救援金が贈られ、日本赤十字八代地区から被災地地区に届けられる予定です。

坂田市長から「多額の寄附と心温まる救援金に感謝します」と感謝の言葉がありました。

★明日への自立を支援

希望の里たいようオープン

▶完成した「希望の里たいよう」

障害福祉サービス事業所「希望の里たいよう」が高下西町にオープンし、7月5日、落成記念イベントが開催されました。

▲楽しい音楽とトーク

この施設は、障がい者が自立した社会生活を実現できるよう支援するもので、買物カゴの洗浄や印刷、軽作業などのほか、施設の一角にある「パン工房たいよう」でパンの製造・販売も行います。

式典では、玄関前でのテープカットに続いて挨拶や寄付者等への感謝状贈呈、名称募集の表彰などが行われたあと、アトラクションとしてシンガーソングライターのむたゆうじさんのコンサートが開かれ、参加者たちは会場を巻き込んだ楽しい音楽とおしゃべりを満喫しました。

★地域が見守る

手作りの交通教室

▶▲手作りの道路標識
信号機・トラック

日奈久小学校では、校区の森喜久男さん（交通指導員）ほか交通安全協会の皆さんの支援を受け交通安全に取り組んでいます。

昨年は手作りの信号機を製作され、今年は、道路標識とトラックを製作。6月30日には、同小で交通教室が行われ、地域の皆さんの知恵と工夫のおかげで子どもたちの交通意識が高まっています。

▲委嘱状交付式の様子

★性別にとらわれず社会に参画！

八代市男女共同参画審議員委嘱状交付式

6月25日、市役所会議室で平成20年度八代市男女共同参画審議会の委嘱状交付式が行われました。

上村宏子会長ほか12名の審議員に坂田市長から委嘱状が手渡され、「男女が共に支えあうまち、地域作りに取り込んでもらい、21年度男女共同参画宣言都市を目指したい」とお礼とお願いのあいさつがありました。

▲みんなの熱い思いで、善意の寄附

★記念すべき10回目の開催

やつしろハートフルパフォーマンス

恒例の「やつしろハートフルパフォーマンス」が、6月29日、市厚生会館で行われました。

明るく幸せな福祉社会の実現に貢献しようと毎年開催されているこの催し。今年は記念すべき第10回を迎え、市社会福祉協議会長の坂田市長へ寄付目録が手渡されたあと、参加10団体の約700人の参加者たちがダンスや体操、太極拳など、日ごろの活動の成果を次々に披露しました。

これまでに贈られた善意の寄付金は、累計で800万円を超えるとのことです。

▲干拓の潮止めに宮相撲衆が関わったとの言われから千丁町に伝わる女相撲

★ 地域の文化を伝えよう

八代市伝統芸能まつり

6月28日、鏡文化センターで「第3回八代市伝統芸能まつり」が開催され、市内8団体による伝統芸能の披露と妙見祭の亀蛇の展示が行われました。

今回は、「干拓にまつわる伝統芸能」をテーマに鏡町のおざや名所や千丁町の女相撲をはじめ、獅子舞や盆踊り、神楽などが披露されました。会場には約500人の観客が訪れ、次々と演じられる各地域の特色あふれる舞台を熱心に見入っていました。

広　告